

取組内容の概要

「未来のコモンセンスをつくる研究大学」に成長していくプロセス

学間によって社会を豊かにし、社会からの学問への信頼を高める「**学問の社会実装**」と、経済発展を促進する「**起業家・実業家の創生**」を実現し、これらの挑戦に連携大学OISTや参画機関と共に世界の舞台で取り組むことで、**実学の成果を未来のコモンセンスとして成就させる研究エコシステム**を確立する。

1. 先行するWPI、COI-NEXTを核にして、領域横断研究を創出し成長させるための土壌（System）を整備
2. 領域横断研究、課題解決、社会実装までを支援する体制を構築
3. 国際的展開、学際的发展のため、OISTと連携

・特色ある拠点群
（WPI, COI-NEXT等）
・多様な研究者

・拠点群の成長
・新拠点の創出
・拠点間の融合

・学問の社会実装
・研究エコシステムの実現

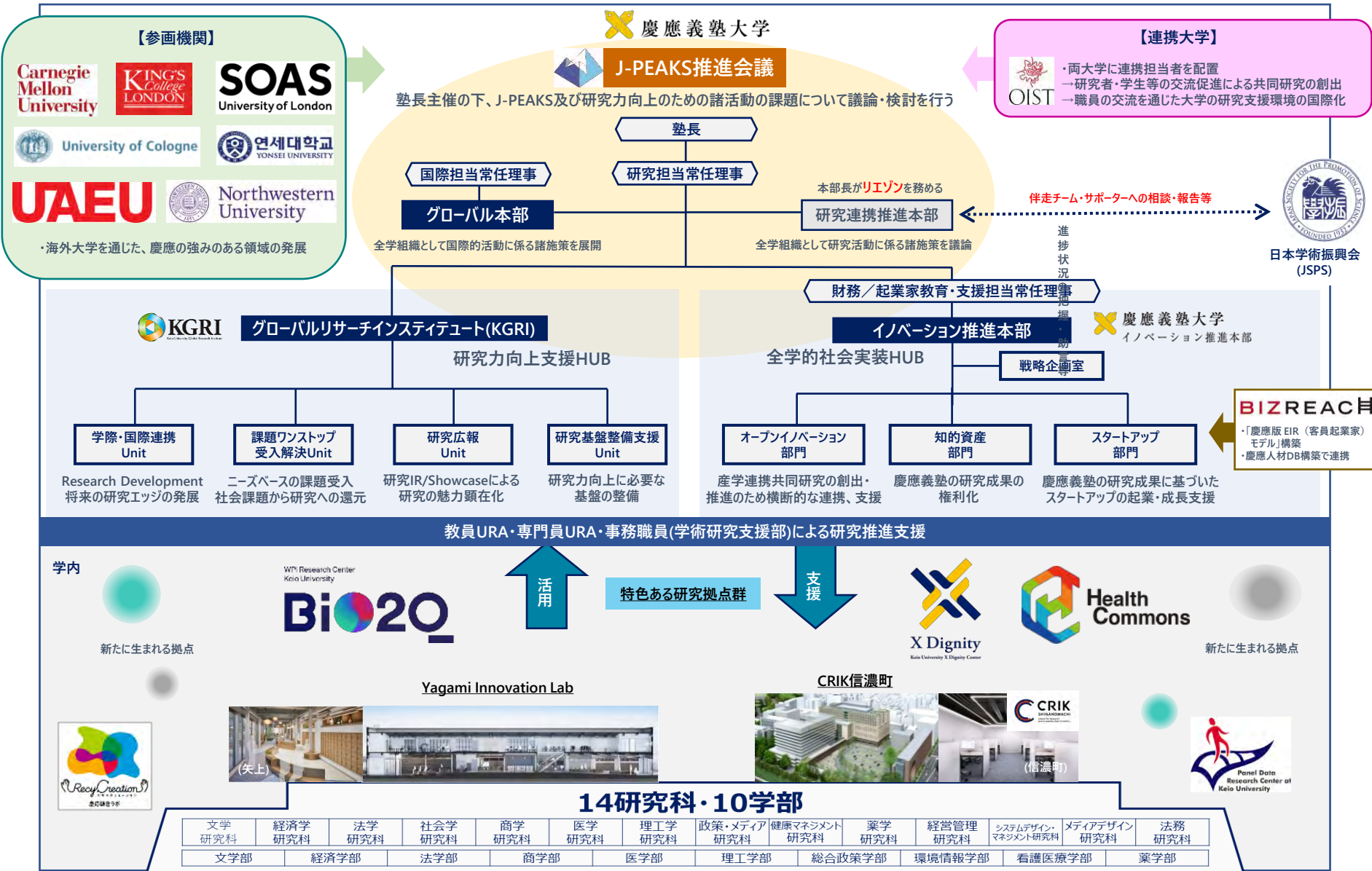
実装

社会

還元



領域横断研究、課題解決、社会実装までを支援する体制



取組内容の時系列イメージ

		1年後		2年後	3年後	4年後	5年後～
		2023	2024	2025	2026	2027	2028
領域横断研究を創出する土壌の肥沃化 (研究基盤の整備)							
(1) 研究フロンティアの開拓と Research Showcaseの制作	全研究者情報のShowcaseシステム及びポータルサイトの構築	調査検討	テスト運用・構築開始	→運用開始	→本格運用	(研究者情報のカバー率)	
	情報発信 (オンライン, イベント)		研究紹介ビデオ制作,	メールニュース配信, 研究者交流会の開催等			
(2) クラウド型研究データ基盤整備	Showcaseシステムとの連携 先端的なデータ基盤の整備	検討 一括契約	データ基盤	整備、高度リポジトリの実装		レビュー	
拠点型研究/領域横断研究を創出するResearch Developmentの活動							
(1) 資源循環型都市デザインによるまちづくり	研究機器導入		YILの利用・相互利用の開始	異分野融合研究	→ 都市の資源ネットワークの新領域確立		
	キャンパス型ラボ整備開始		試験運用	自治体連携検討	→ 実行	複数自治体へ展開	シンポジウム開催
(2) 領域横断プロジェクト創出 (Research Developmentの活動)	雇用準備	URA雇用	→ 共同研究コーディネート	→ 増強	新たな拠点候補プロジェクト支援		
(3) 矢上イノベーション施設 (YIL) の整備	YIL建築工事			・異分野間シミュレーション ・企業向けWS開催	・オープンサイエンス活動の開始・展開 ・量子コンピュータを利用したWSの開催	ポスト情報・デジタルの新学術領域の展開	
イノベーション創出から社会実装を育む土壌 (Research Commercializationの活動)							
(1) Ideation & Activation (智の形成と活用) の活動			URA雇用 → 手法検討・体系化 → 課題受入れ	ニーズ先読み分析, 持続化策検討	インセンティブ制度設計 → 導入 評価・見直し		
(2) 全学的社会実装支援 HUB体制の整備	大型産学連携共同研究支援		URA増強 → 拠点等	ニーズ調査・協働	体制検討 → 伴走支援		
	インキュベーションプログラム (KSIP)	コンセプト設計・コンテンツ準備	客員起業家による	伴走支援・資金調達支援等	CRIK信濃町での入居促進		
	信濃町インキュベーション施設 (CRIK信濃町) 整備・運営	改修工事・準備	URA雇用, 誘致	イベント開催・ブランディング	(入居率) 共同研究促進活動		
(3) 情報循環型の未来医療の実現	機器類導入		データ基盤・病院内連携整備	企業・自治体データとの連携	企業のデータネットワークを活用した国際展開		
	CRIK信濃町入居スタートアップ	との共同研究支援	▽	慶應病院でPOC取得	共同研究成果の社会実装		
(4) イノベーションを担う人材の育成	大学イノベーション理論調査		特任教員雇用 → 調査	報告書作成	提言起草	提言を学内外に公開 大学経営改革への反映	
	アントレプレナーシップ教育		プログラム内容検討・開講準備	3プログラムの開講 → → → → →	単位認定講座化 → 継続		
	インパクトの評価の実行を担う教育プログラム		体制構築 プログラム内容開発	評価手法国内発表 → → 国際発表 教育プログラムテスト → → 実施	評価手法アップグレード, プログラム継続		
国際的展開							
(1) 連携大学OISTを介した国際化		連携コーディネーター獲得準備	配置	研究者の往来・滞在による共同研究促進 若手研究者・ポスドク・技術スタッフ・事務職同士の交流			
(2) 参画大学との交流・連携による国際化			参画機関との交流				
世界に伍する研究拠点をシリアルに創出する仕組みの創成							
生体膜タンパク質のナノレベル三次元微細構造・機能解析国際拠点構築		スペース整備	研究機器の導入等	性能評価・技術開発 解析支援の実施 AI・量子計算を用いた構造予測システム開発			